

先進地に学ぶ ～ 登別市視察研修 ～

9月28日(木)、コミュニティスクールの先進地である登別市へ視察に行ってきました。岩内町のコミュニティスクール導入の参考となるお話を伺うことができました。以下、視察研修の報告です。

登別市では、社会教育が充実した地域であることを活かし、北海道でいち早く学校運営協議会・コミュニティスクール設置の準備を開始し、平成26年からコミュニティスクール事業が本格始動。現在、校区内の小学校と中学校で一つの学校運営協議会を設置しており、市内で複数の学校運営協議会が活動しています。

今回は、登別市教育委員会と幌別西小学校で、現在の取組・課題等をお伺いしました。具体的なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。



課題

- ・ 小中一貫の取組との連動
- ・ ゴールイメージの再確認と強化
- ・ 学校と地域をつなぐ「地域コーディネーター」となる方を探すこと
- ・ 協議会委員の人選
- ・ 委員の人数 など



現在の取り組み

地域から学ぶ

放課後学習



地域ボランティアの方が先生となり、解き方を教えたり、丸付けをしている。

畑の先生



地域の専門家に協力いただき、外部講師として授業に関わってもらっている。

地域とともに考える

学校運営協議会の実施



コミュニティスクールの母体となる協議会を年に数回開催、地域や保護者の方と学校運営を協働で行っている。

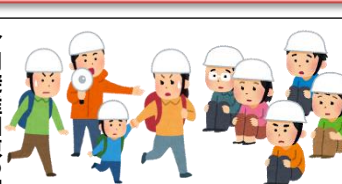
地域をつなぐ

安全見守り隊



子どもたちの登下校を見守っている。

合同避難訓練の実施



町内会主催の避難訓練に学校も参加。

伝統芸能の継承



児童生徒が授業の一環として、伝統芸能を学び、地域文化を守っている。

登別の視察を終え、コミュニティスクールには、地域の方の協力が不可欠だと感じました。また、事業を運営する側の課題等にも触れることができました。この視察で学んだことを活かし、地域の方との協力・協働により、岩内町にあった取組を進めていきたいと思えます。

〈編集後記〉推進委員会を立ち上げて半年が過ぎました。今年前半は研修中心でしたが、これからは推進委員会での話し合いが主になっていきます。お便り等でお知らせしていきますので、よろしくお願ひします。(岩内第一中学校 千葉)

